

# 令和7年度の活動計画（案）

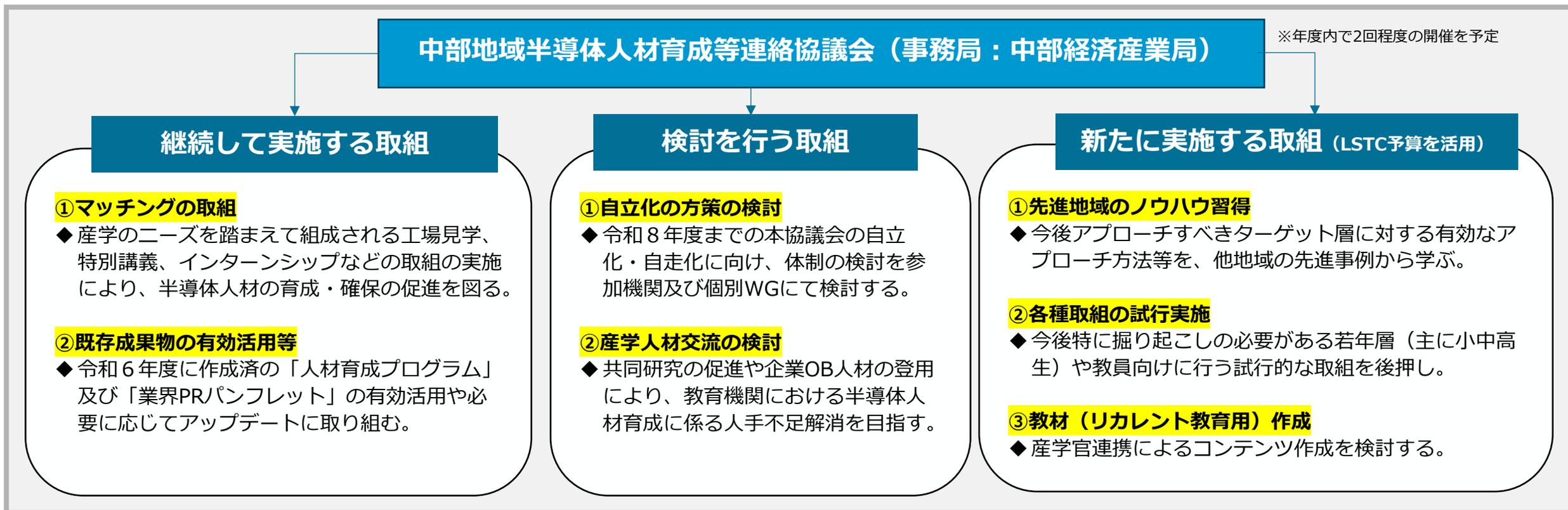
令和7年7月16日

経済産業省 中部経済産業局

（中部地域半導体人材育成等連絡協議会 事務局）

# 令和7年度の活動計画（全体像）

- 既存の取組の維持・発展を図りつつ、新たな取組の可能性や**自走化**についても検討を図っていくこととしたい。
- また、新規の取組に関する費用をLSTC予算を活用して後押し、質・量の両面での充実を図る。



## 参考：協議会外の取組（半導体サプライチェーンの支援）

### ① SEMICONジャパン「中部パビリオン」出展に係る検討

- ◆ 半導体に関連するサプライヤーの販路拡大等の支援、ひいては我が国半導体サプライチェーンの強靱化に向け、中部地域一体となったブースの共同出展を行う。30社程度ブース出展予定。

# 中部地域における半導体人材育成に係るターゲット整理・取組方針のイメージ ※再掲

- ①電気電子学科の低学年の学生は、半導体業界の認知はあるが現時点で興味・関心が低いため、**興味関心・専門性を高める取組**を実施する。
- ②電気電子学科以外の他学部の学生は半導体業界をあまり認知していないため、半導体と半導体企業の**認知を高める・裾野を広げる取組**を優先的に実施する。
- ③小中高生は接点がなく、半導体業界を認知していないため、理系人材の確保に加え、半導体の**認知のための取組**を実施するが、①②と比べて取組実績が少なく実施までの準備・企画に時間を要するため、他地域・業種のベンチマーク調査等から対応していく必要がある。

## (再掲)ロードマップの作成方針

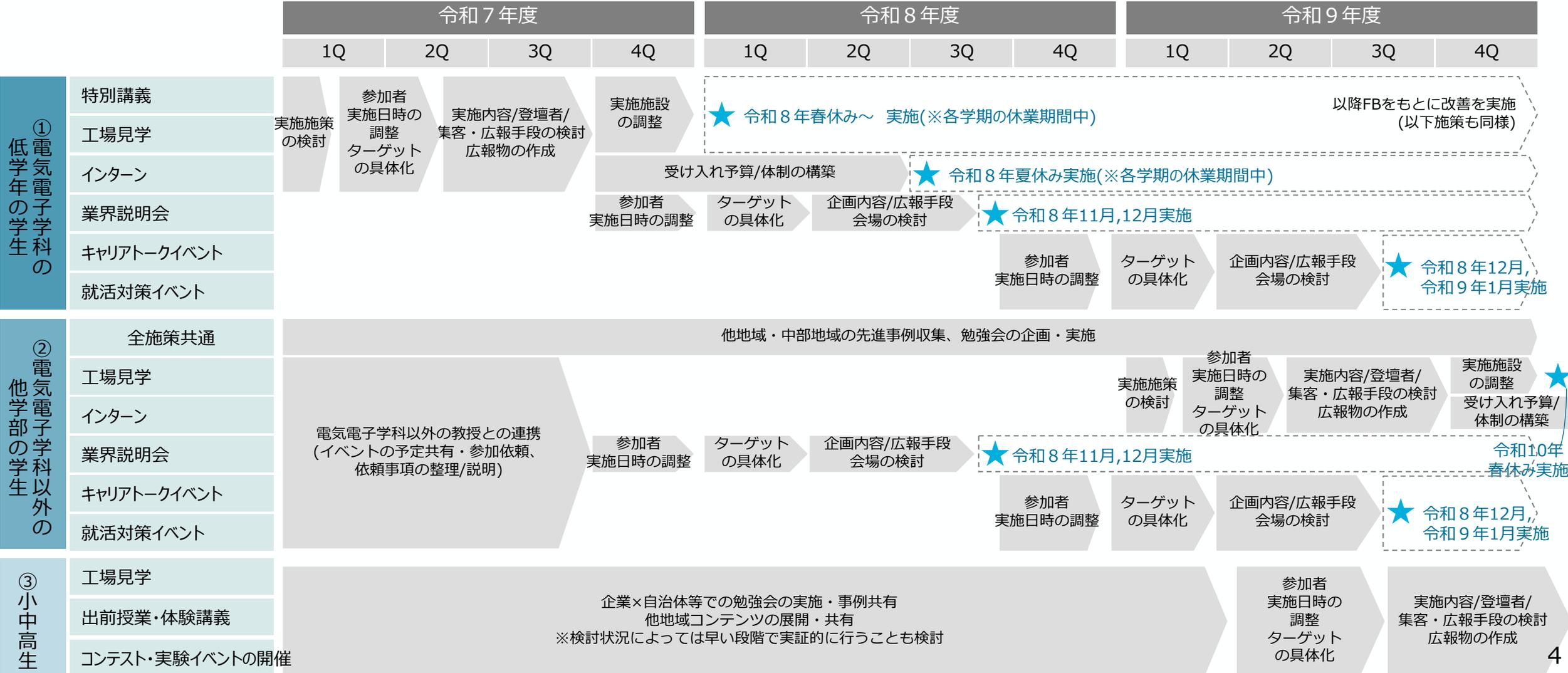
- ①電気電子学科の低学年の学生、②電気電子学科以外の他学部の学生、③小中高生 に対して、**半導体業界への興味関心が向上する施策**を検討し、半導体産業への**人材輩出数の増加、人材の質向上**を目指す

## 今後の取組におけるターゲット層と取組方針

	電気・電子	物理	化学	機械	情報	その他
博士	十分に興味関心を持っており、半導体業界での働き方も想像できている	<b>ターゲット②</b> ニュース・報道や就活中に得た情報のみで、半導体業界を認知していない <ul style="list-style-type: none"> <li>どのような会社があるか認識していない</li> <li>大学で学んだことがどのように活用できるか想像がつかない</li> <li>半導体業界の情報が入ってこない</li> <li>他の業界と比較して給与や将来性、やりがいかわからない</li> <li>仕事におけるWLB、福利厚生、裁量(若手の活躍)も気になる</li> </ul> ⇒母数が多いため、 <b>半導体と半導体企業の認知を高め裾野を広げる(就職の選択肢になる)取組</b> を優先的に実施 ※各取組の周知・人員確保にあたって、電気電子工学科以外の学科に対しては協力体制を築くことが必要なため、環境づくりから実施する				
修士						
学士(3,4年) 高専専攻科						
学士(1,2年) 高専本科	<b>ターゲット①</b> <b>半導体業界を認知はしているが、興味・関心は低い</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>半導体分野・学問に一定興味があるが、半導体業界と学んでいる内容の関連が分からない</li> <li>自動車業界、AI・IT業界は働き方が想像つくが、半導体業界については働き方が想像つかない</li> </ul> ⇒ <b>半導体への興味関心・専門性を高める取組</b> を優先的に実施 ※高学年向けの取組を既に実施しているため、 <b>施策実施にあたっての障害や課題が少ない</b>					
小中高生	<b>ターゲット③</b> <b>半導体業界との接点がなく、認知できていない</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>半導体が何か知らない</li> <li>半導体業界での働く人のイメージがない</li> </ul> ⇒将来的な <b>理系人材の確保に加え、半導体を認知してもらう取組</b> を実施 ※ただし小中学校とのつながりや施策の実施経験がなく、 <b>企業就職までの時間軸が長い</b> ため <b>施策の実施は劣後</b>					

# ロードマップ案(～令和9年) ※再掲

- 新たなターゲット(①～③)への対応としての新たな取組に関して、検討・実施までのロードマップを以下のとおり想定。

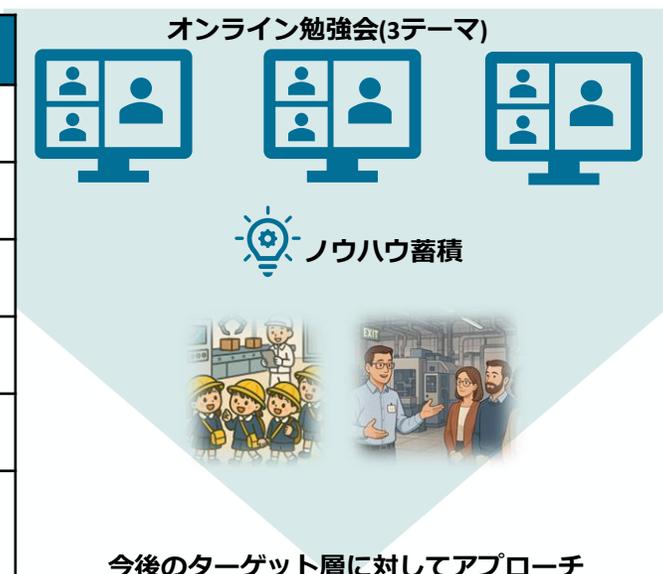


# 令和7年度の活動計画（具体的な取組）

①本協議会の取組の自走化（目標：令和8年度まで）の方針及び産学人材交流促進に係る検討

②裾野拡大に資する取組の実施に向けたノウハウ習得と試行実施

No.	実施時期	項目	具体的な取組内容
1	—	本協議会の取組の自走化に向けた検討	—
2	8月頃	先進地域のノウハウ習得	オンライン勉強会（3テーマ程度）
3	12月以降	他学部生・若年層向けの取組	工場見学等（3社程度）
4	10月～12月頃	他学部・他学科教員向け研修	企業見学（6社程度）
5	今年度内	教材（リカレント教育用）作成検討	—
6	〃	産学人材交流事業	・技術シーズ／ニーズのマッチング ・企業⇔教育機関の人材交流

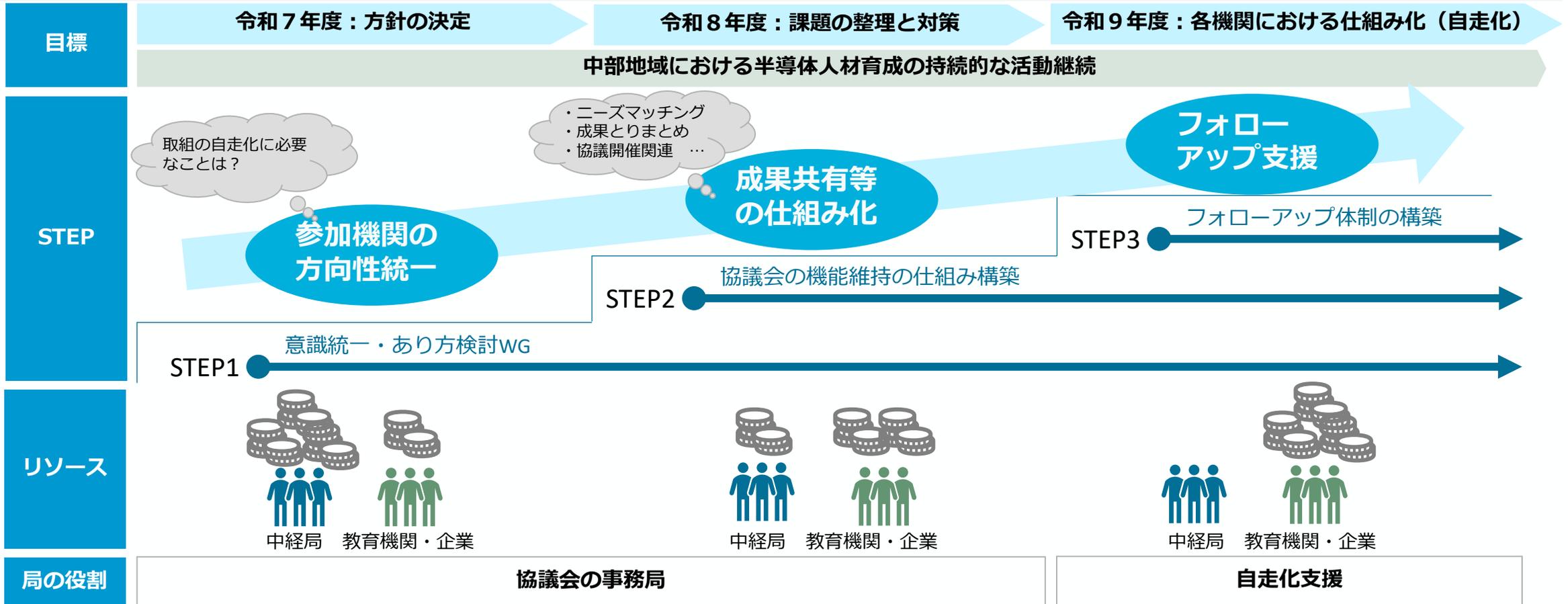


従来のニーズリストのマッチングに基づく各機関における取組

	電気・電子	物理	化学	機械	情報	その他
博士 修士	十分に興味関心を持っており、半導体業界での働き方も想像できている	ターゲット2 ニュース・報道や就活中に得た情報のみで、半導体業界を認知していない				
学士(3,4年) 高専専攻科	ターゲット1 半導体業界を認知しているが、興味・関心は低い	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこの会社があるか認識していない</li> <li>大学で学ぶことがどのように活用できるか想像がつかない</li> <li>半導体業界の職種が入っていない</li> <li>他の業界と比較して給与や将来性、やりがい、わかりにくい</li> <li>仕事におけるSWLB、福利厚生、裁量(若手の活躍)も気になる</li> <li>母数が多いため、半導体と半導体企業の認知を高め裾野を広げる(就職の選択肢になる)取組を優先的に実施</li> <li>各取組の周知・人員確保にあたって、電気電子工学科以外の学科に対しては協力体制を築くことが必要のため、環境づくりから実施する</li> </ul>				
学士(1,2年) 高専本科	半導体分野・学問に一定興味があるが、半導体業界と学んでいる内容の関連が分からない	ターゲット1 半導体業界との接点がなく、認知できていない				
小中高生	半導体業界への興味関心・専門性を高める取組を優先的に実施 ※高学年向けの取組を既に実施しているため、施策実施にあたっての優先順位は低い	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体業界が何かわからない</li> <li>半導体業界での働くイメージがない</li> <li>将来的な産学人材の確保に加え、半導体業界を認知してもらう取組を実施</li> <li>※また、小中高生向けの認知啓蒙の取組は、企業就職までの時間的余裕がないため、積極的な実施は難しい</li> </ul>				

# 令和7年度活動計画 1. 本協議会の取組の自走化に向けた検討

- 第11回半導体・デジタル産業戦略会議において、今後地域における人材育成・確保に向けた取組をサステナブルとするためには、「自立化・自走化」を図ることが重要とされており、令和8年度頃までに自己財源で運営可能な体制への転換するよう示された。
- 当協議会の設置から2年が経過し、産学連携による取組は一定程度進んだと評価。今後、国のリソース（予算）が縮小する中で、これまでの取組が維持・発展するには、協議会をどのように運営してすべきか検討を開始したい。



# 令和7年度活動計画 2. 先進地域のノウハウ習得

- ロードマップにおいて、協議会の新たなリーチ先として「電気・電子学科以外の学生」や「小中高生」を挙げたところ、こうしたターゲットに応じた対応ノウハウや具体ツール等が不足しているため、オンライン会議により、ノウハウ習得を目指す。
- 目標：先進事例習得のためのオンライン会議を3回開催

リーチ先	対象	テーマ案	講師案
進路選択前の学生	教育機関・企業	半導体が切り拓く未来 ～産学ミートアップ	九州局（+教育機関・企業）
電気電子学部以外の学生	教育機関	専門学部以外へのアプローチ方法	山形大学（山形県）
小中高生	企業	半導体工場に行こう！（+意見交換）	マイクロンメモリジャパン株式会社（広島県）

## 今後の進め方



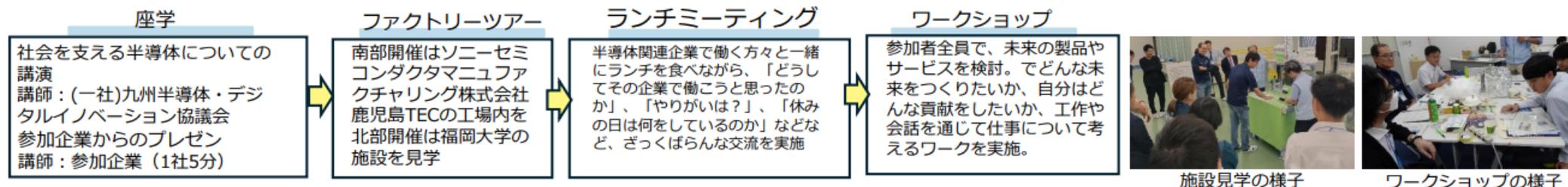
## 2. 先進地域のノウハウ習得

～教育機関・企業向け 若年層への効果的なアプローチ  
「半導体が切り拓く未来 ～産学ミートアップ」講師：未定

・進路選択前、就職先検討前の学生、半導体関連企業が一堂に会し、新たなビジネスアイデアWSや施設見学を通じて、半導体業界で働く魅力発信とイノベーションの種創出に繋げる。

・企業と学生の少人数×長時間のコミュニケーションを取れることが特徴。

### プログラム（北部九州・南部九州開催共通）



### 南部九州会場開催結果

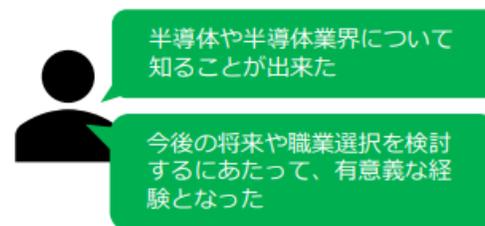
会場：ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社鹿児島TEC  
日時：2024年10月30日10:00～16:30 参加者全43名（自治体参加者2名含む）  
教育機関参加者：5校 教員等7名、生徒・学生15名- 鹿児島大学・第一工科大学・都城高専・鹿児島工業高校・水俣高校  
企業参加者：7社 19名-旭化成マイクロテクノロジー・九州電子・くまさんメディクス・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング・フェニテックセミコンダクター・藤田ワークス・マイクロカット

### 北部九州会場開催結果

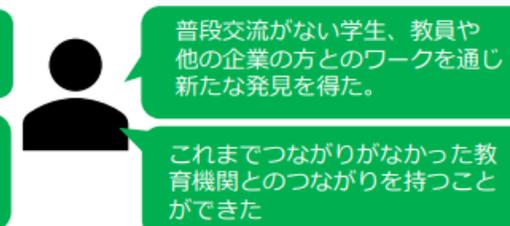
会場：福岡大学 5号館 2階 521教室  
日時：2025年2月14日10:00～16:30 参加者全44名  
教育機関：8校 教員等6名、学生13名 福岡大学、福岡工業大学、西日本工業大学、久留米工業大学、佐賀大学、大分大学、都城工業高等専門学校、長崎工業高校  
企業参加者：10社25名 アスカコーポレーション、田中電子工業、デンケン、日清紡マイクロデバイスAT、平井精密工業、マイスティア、三井ハイテック、メルコセミコンダクタエンジニアリング、メルコパワーセミコンダクタチップ、メルコアドバンスデバイス

### アンケート結果

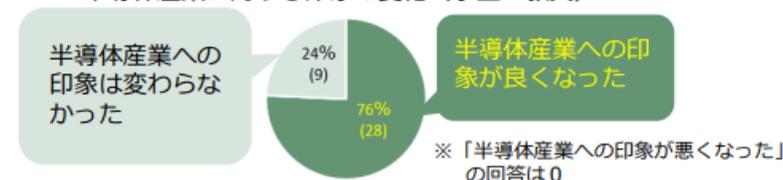
参加した感想（学生参加者）



参加した感想（企業参加者）



半導体産業に対する印象の変化（学生・教員）



アンケート結果から、北部九州・南部九州ともに好評。次年度以降も継続したい。来年度は長崎・大分での開催を検討。継続にあたり、企業開催、企業の発表時間等PRの時間を増やす等の改善を行う。

## 2. 先進地域のノウハウ習得

～教育機関向け 電気電子学部以外の学生へのアプローチ

「専門学部以外へのアプローチ方法」講師：山形大学 成田教授（山形県）

- ・山形大学では、学年・学部不問の講義として新たに開講した「山形・東北と半導体」は、工学部に限らず多くの学生が受講。
- ・当該講義の受講学生がT-Seeds人材育成プログラムに参加するなど、裾野拡大・深化の成果が見られる。
- ・新規単位科目の開講から、生徒の興味関心（各プログラムへの参加率）を高めるノウハウの習得に期待。

T-Seeds人材育成プログラムの参加状況（2/28時点）

プログラム	参加者数 (学生)	うち山形大学
オープンセミナー	40名	12名 (30%)
オンデマンド講座	162名	46名 (28%)
半導体製造実習	34名	15名 (44%)
企業視察ツアー	88名	35名 (40%)
インターンシップ	120名	12名 (10%)
<b>合計</b>	<b>434名</b>	<b>120名 (28%)</b>

山形大学における取組

- ・令和6年度より、基盤共通科目（※学年・学部不問で受講可）として、「山形・東北と半導体」(2単位)を開講。
- ・山形・東北域内の半導体企業10社から講師を招聘し、半導体産業の魅力を講義。

<プログラム>

- ① 講義の進め方とガイダンス
- ② 半導体って何？
- ③ 東北大学と半導体（東北大学 遠藤哲郎教授）
- ④ 東北地方と半導体産業（東北経済産業局）
- ⑤ インスペック（秋田）
- ⑥ 信越半導体（福島）
- ⑦ スズキハイテック
- ⑧ キオクシア岩手（岩手）
- ⑨ 東北エプソン
- ⑩ ルネサスエレクトロニクス
- ⑪ 東京エレクトロ宮城（宮城）
- ⑫ 東根新電元
- ⑬ ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング山形TEC
- ⑭ 富士電機津軽セミコンダクタ（青森）
- ⑮ まとめ



河北新報(R6.7.13)

## 2. 先進地域のノウハウ習得

～企業向け 小中高生へのアプローチ方法

「工場見学の魅力を伝える」 講師：マイクロンメモリジャパン株式会社（広島県）

- ・マイクロン社は、多様な主催者のもと、幅広い年齢層に対して半導体教育を実施してきた。
- ・主催者との調整方法から、年齢層別に効果的な集客方法やテーマ設定を学ぶことに期待。

■企業の取組の例【マイクロン】 K12 STEM活動、キャリア支援に係る活動等 ※協議会と連携での取組を含む

取組名称	種類	主催者	対象者	内容
①科学の芽育成講座	出前講座	東広島市教育委員会	東広島市内小中学生	多国籍講師による半導体電子部品を用いた回路設計のワークショップ（科学の芽育成講座：理科）
②企業の出前講座	出前講座	広島県雇用労働政策課	県内高校生	キャリア教育・進路指導、総合的な探求の時間のテーマ設定を目的とした講演会
③教職員向け研修	出前講座 工場見学	中国経済産業局	中国地域教職員	広島大学と連携しての半導体講義、研究所見学、工場見学
④小中学生向け工場見学会	工場見学	中国経済産業局 東広島市生涯学習課	小中学生及び保護者	工場見学及び社員との交流会
⑤オンライン工場見学 （R7年度から）	工場見学	東広島市教育委員会	東広島市内小学生	2025.11.5予定。東広島市・熊本県・北海道から5年生300人が参加予定。広域交流型オンライン社会学習。
⑥Chip Camp	工場見学	ガールスカウト日本連盟	全国の女子小中学生	米国本国で20年以上実施する取組の日本版。ロボット組み立て、社員との交流会、工場見学（1泊2日）
⑦AIに関心の高い高校生向け 工場見学会	工場見学	広島AI部運営コンソーシアム （広島県教委）	広島県内高校生	AIリテラシー向上に向け、工場見学等を通じた半導体がAIの技術革新に欠かせないもの等の学習
⑧理系女子学生対象 半導体セミナー	工場見学	安田女子大学・女子短期大学 広島工業大学（JCD）	安田女子中学高校の学生及び保護者 他	工場見学及び女性技術者との交流
⑨広島県科学セミナー	その他	広島県教育委員会 広島市市立大学	県内高校生	科学に対する興味・関心の向上を図るとともに、思考力、表現力の育成を図る取組。課題研究活動成果発表の審査員として協力



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

※JCD（女子学生キャリアデザインセンター）

## 小中学生・保護者を対象とした半導体工場見学会の実施

- 半導体の認知度向上、興味・関心の喚起を促進するために、東広島市に所在するマイクロンメモリジャパンに協力をいただき、**小中学生及び保護者を対象とした見学会を開催**。 <https://www.chugoku.meti.go.jp/seisaku/tiiki/handoutaikankansangyou/250116.pdf>
- 保護者に就活の相談をする学生は増える傾向にあり、少子化の影響で親子の関係も密接になる中、学生の意思決定に対する保護者の影響が強くなっていることから、子どもだけでなく、保護者にも半導体を身近に感じてもらうことを目的とした。
- 今後は継続性も観点に入れ、自治体や地域に所在する教育機関とも連携するなど、**モデル地域の拡大を検討**する。

### プログラム概要



- 東広島市生涯学習課が2023年度から実施している「理系・イノベーション講座」の1講座と連携して実施。

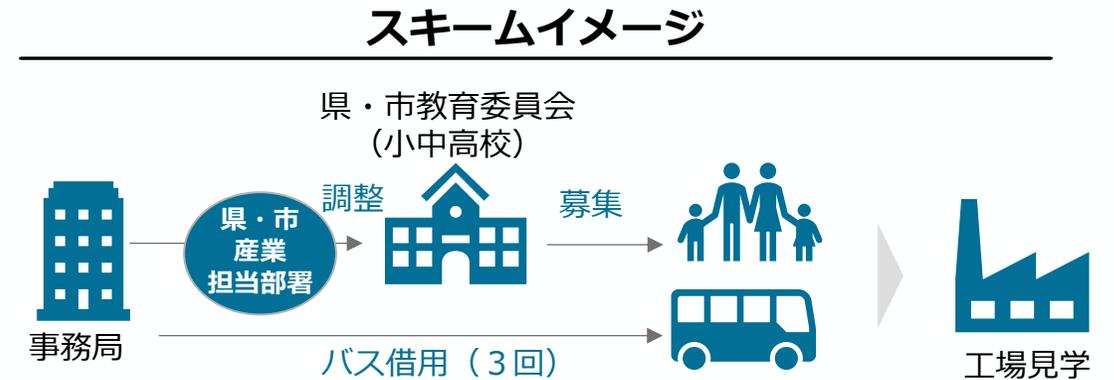
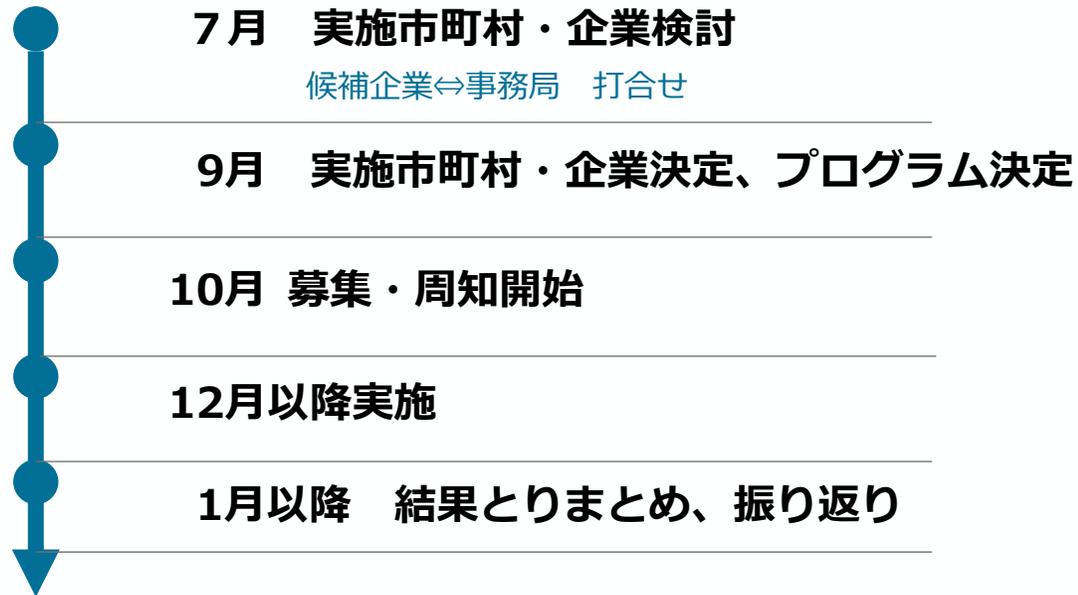
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>主催：東広島市生涯学習課 中国地域半導体関連産業振興協議会</li> <li>共催：東広島市雇用対策協議会</li> </ul>
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学4年生～中学生及び保護者</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>20家族42人 (東広島市内77%、市外23%) 小学生13人、中学生9人)</li> </ul>
開催日程	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年12月26日(木) 9:00～12:00</li> </ul>
会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイクロンメモリジャパンFAB15 (広島工場)</li> </ul>
参加費	<ul style="list-style-type: none"> <li>無料</li> </ul>
所要時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>3時間(移動時間を含む)</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体、工場の説明、オフィス・工場見学</li> </ul>



# 令和7年度活動計画 3-1.小中高生向けの取組（工場見学）

- 小中高生への半導体関連教育の実施状況については、未だ量的・質的にも不足している状況。今後新たに実施する小中高生向けの工場見学会に対して、試行的に実施に係る費用を協議会予算で負担（バス借上）し、ノウハウ習得や教育機関と関係性の構築を目指す。
- 目標：小学校・中学校・高校の各レイヤで1回、大型バスによる工場見学会を実施（計3回）。

## 今後の進め方



## 3-2.小中高生向けの取組（株式会社マイナビとの連携）

- 株式会社マイナビでは、高校生向け探究学習プログラム「Locus（ローカス）」により、オンライン学習やフィールドスタディ（企業訪問・出張講義等）を提供し、高校生が地域や企業について学習を深める機会を設け、地域就職の促進に貢献。
- 今年度、愛知高等学校でフィールドスタディの実施が決定しており、現在参加企業を募集中（7/31ㄨ）。

### 愛知高等学校プログラムの募集概要

実施日時：11月4日（火）14時10分～16時00分  
実施高校：愛知高等学校（名古屋市千種区）  
実施形式：出張講義型  
参加生徒：**約500名**（当日生徒は各企業へ分かれて受講）  
募集企業：10～15社（協議会内で最大5社）  
募集締切：令和7年7月31日（木）  
その他：ご参加の場合には、アカウント発行が必要  
※別途（株）マイナビ様よりご案内させていただきます。

### ガールズテックプログラム（福岡県）の事例



出典：日テレニュース

<https://news.ntv.co.jp/category/economy/fsb952d2998d3246cdb8c174af775ae08>

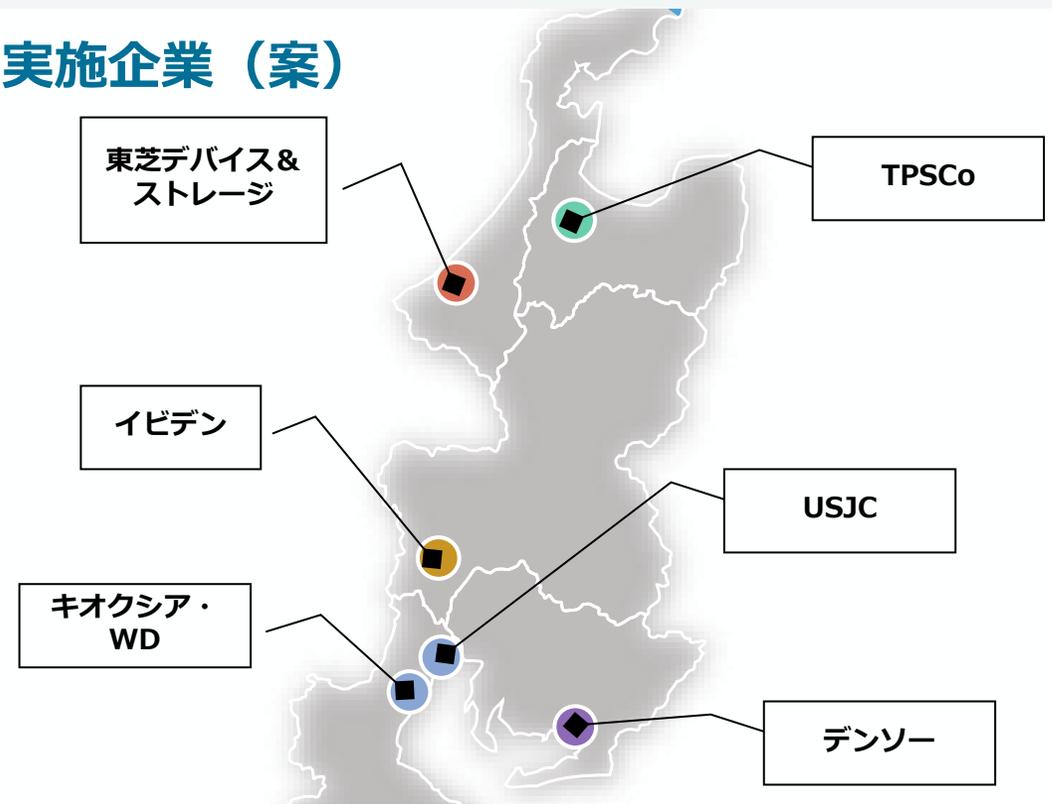
# 令和7年度活動計画 4. 教員向け研修

- 生徒、学生のキャリア選択においては、教員の意見や知見が大きく影響する一方、半導体関連企業は基本的にBtoBであるため、進路相談時に教員側から半導体関連企業が提案される可能性は小さい。
- 他学部学科の教員への半導体の最新動向のレクチャーや、半導体産業の位置付けのインプット等により、様々な分野の教員がそれぞれの学部学科等に所属する学生等に対し、半導体産業を進路として提示していただける環境を形成することを目指す。
- 今年度は、試行実施に係る費用を協議会予算で負担（バス借上）し、ノウハウ習得や教育機関と関係性の構築を目指す。

## 今後の進め方



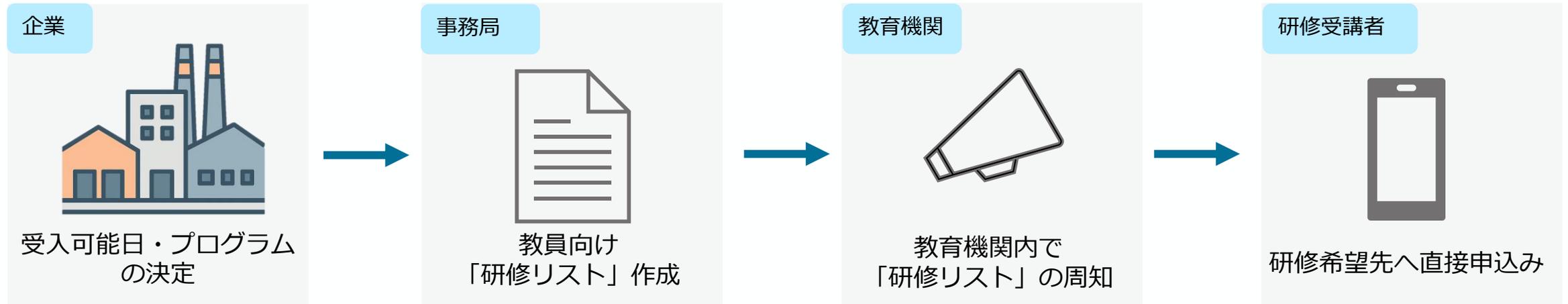
## 実施企業（案）



# 令和7年度活動計画 4. 教員向け研修

## 今後の進め方（大枠）

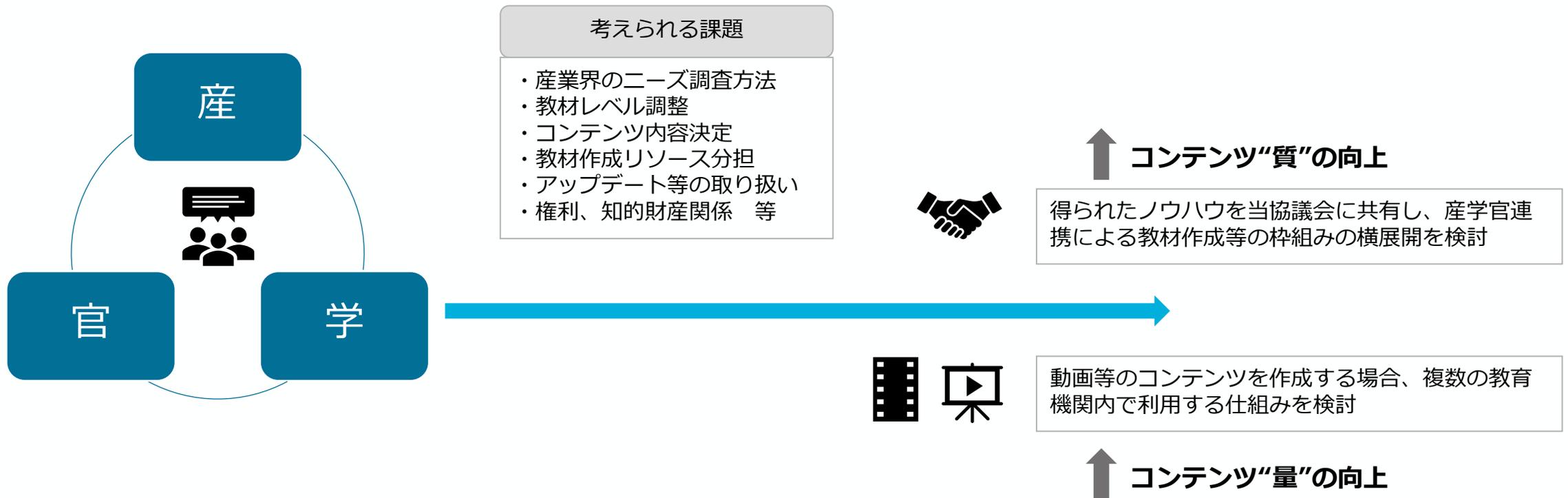
詳細は今後関係者間で都度打合せをしつつ、決定します。



✓ 東海（愛知・岐阜・三重）と北陸（富山・石川）の研修リストを作成し、複数の候補の中から、参加可能な日を教員の方々に選択してもらう（=企業×教育機関は限定しない）。

# 令和7年度活動計画 5. 教材（リカレント教育用）作成検討

- 令和6年度のNEDO事業において、大学低学年をターゲットとした「中部地域半導体人材育成プログラム」を作成し、中部地域内外への教育機関・企業等へ展開。
- 他産業との人材確保競争が激化する中、新卒採用の困難さを受け、今後は専門外の社員や中途社員をターゲットとしたリカレント教育の重要性はますます高まっており、**産業界のニーズを踏まえた**、産学官連携による教材作成等について、検討を行う。



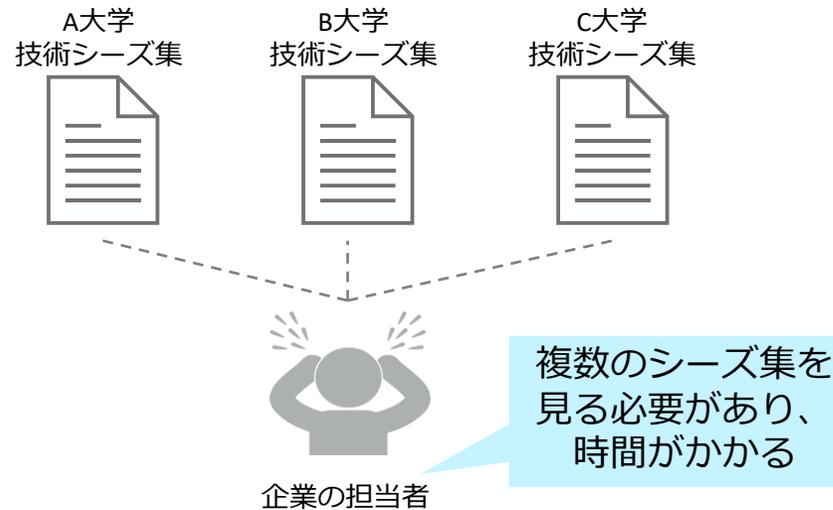
# 令和7年度活動計画 6-1. 産学人材交流事業

- 地域内に存在するシーズに基づき、学生等の関与が可能な共同研究等が数多く組成されることによって、高度かつ即戦力になり得るような人材育成を図ることが重要。

## 現状

### 技術シーズ集が個別に存在

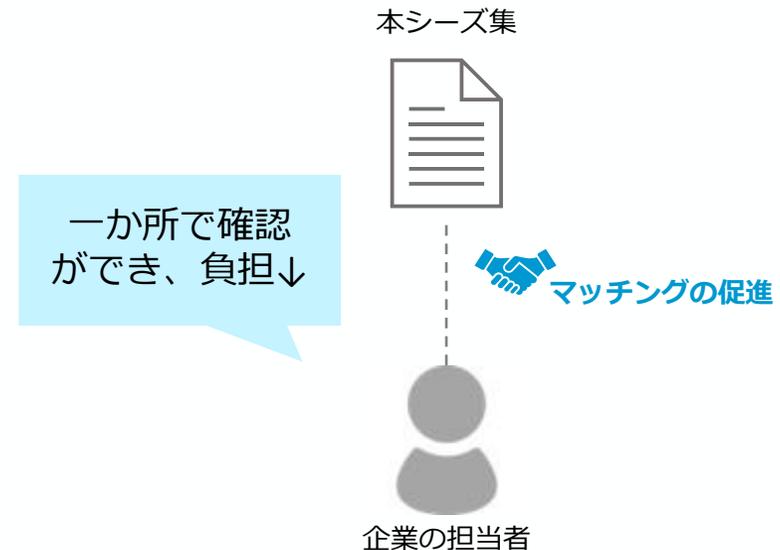
- 半導体分野の技術シーズを確認しようとする、各教育機関のウェブサイトを個別に確認する必要があり時間・工数がかかる
- 半導体以外の分野も含まれているため、半導体分野の技術シーズの掘起し・アクセスが難しい



## 目指す姿

### 半導体分野の技術シーズが集約

- 中部地域の半導体分野の技術シーズが一元化されており、一か所で技術シーズの把握や連絡先の確認ができるため、中部地域における半導体分野の技術シーズ・ニーズのマッチング、共同研究の組成を促進



# 令和7年度活動計画 6-2. 産学人材交流事業

- 教育機関において企業OBを確保することは、**学生等に対する半導体教育の実施に当たり有効な手法の一つと考えられるが、現状採用が進んでいない。**対策の一つとして、本年度は教育機関側で公募している職種のリスト化と、企業側の再就職を希望している人材のリスト化について検討を行う。



教育機関

- 半導体分野の教員の採用が難しく、業界全体で教員人材の供給が不足。
- 現在はあまり企業と連携がないが、企業出身の教員が増えると連携が活発になる可能性がある。
- 企業退職後のセカンドキャリアや他大学からの転職・採用を増やしたいが、給与や研究費の不足が障壁。
- **企業人材の採用に関しては公募もしているが、教員等の人脈に依存している部分がある。**

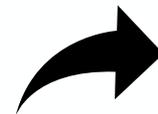
※中部経済産業局によるヒアリング情報を基に記載



解決策の一つとして、教育機関側の採用ニーズ（公募職種の一覧化）と、企業側の再雇用を希望している人材プールの情報の可視化が検討できないか。



“企業社員と教員の**個人**のつながり”



から



“企業と教育機関の**組織**のつながり”に変化

## 【参考・協議会外】半導体関連企業の取引拡大等支援の取組について（概要）

### SEMICON Japan 2025「中部パビリオン」の出展

- 中部地域には、デバイスや半導体製造装置などのサプライチェーンを支える企業が集積しており、当該企業群の更なる発展が求められるところ。関連企業の販路拡大の支援等を図ることで、サプライチェーンの強靱化等への貢献を目指す。
- 30社程度のブース出展を予定しており、SEMI主催のマッチングとは別で、バイヤーを中部パビリオンに招待して、独自のマッチング会を設定予定。

現在、バイヤーを募集中です。ご興味・ご関心があれば、是非お願いします。

【ブース出展イメージ】

SEMICON Japan2023 「TOHOKUパビリオン」



出典：東北経済産業局HP

### SEMICON Japanとは

半導体産業における製造技術、装置、材料をはじめ、自動車やIoT機器などのSMARTアプリケーションに加え、半導体産業を支える人材育成までをカバーする、世界を代表するエレクトロニクス製造サプライチェーンの国際展示会。

（参考：令和6年度）

- 開催期間：令和6年12月11日（水）～12月13日（金）
- 会場：東京ビッグサイト 東展示棟、会議棟
- 主催：SEMI
- 主な来場者：デバイスメーカー・OSAT技術者、システムメーカー、経営者・投資家、若手エンジニア、学生など



出展：SEMICON Japan HP